

「令和5年度労務管理セミナー」の開催

令和6年1月1日に発生した能登半島地震において犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表すとともに、負傷された方々、被災された多くの皆さま方に心よりお見舞いを申し上げます。

また、一日も早く復旧・復興がなされますことを、祈念致します。

令和6年1月19日（金）、当協会（労務管理部会）、栃木地区安全管理者研究会、小山地区安全管理者研究会の共催で「令和5年度労務管理セミナー」を小山グランドホテル（小山市神鳥谷202）において開催いたしました。

今般は、令和5年度から始動した労働災害防止活動「栃木労働基準監督署管内「S+S（持続可能な安全作業）運動」」に関する主唱者の栃木労働基準監督署長よりその概要・取組についてご講演いただくとともに、「2024年問題と労務管理」として、建設、物流等における時間外労働の上限規制に係る近時の労務・経営問題の視点を踏まえ、専門家に事例をまじえてご講演いただくことと致しました。



（会場の様子）

当日は、会員50名の参加の下、開催することが出来ました。

セミナーは「[令和5年度労務管理セミナー一次第](#)」に則って、冒頭、小山地区安全管理者研究会代表幹事の富士通(株)小山工場の山野井孝様より開会のあいさつをいただき開始となりました。



(山野井孝様の開会挨拶)

次に、栃木労働基準協会労務管理部会長の(株)UAGJ 押出加工小山の柏原宏紀様より主催者挨拶がありました。

柏原様からは、日頃の協会活動への理解と協力への謝意とともに、労務管理セミナーの概要紹介等していただきました。



(柏原宏紀様の主催者挨拶)

続けて、栃木労働基準監督署署長大島充様より来賓挨拶をいただきました。

大島署長からは、労働基準行政推進に当たっての日頃の協力への謝意とともに、令和5年度の栃木労働基準監督署の行政運営状況についての説明がありました。

その中で、第14次労働災害防止計画が始動するとともに、栃木労働基準監督署主唱の新しい労働災害防止啓発活動である「栃木労働基準監督署管

内「S+S(持続可能な安全作業)」推進運動」を、従前実施していた栃木労基署管内「安全宣言運動」に変わるものとして発展的に進めている中で、令和5年の管内における労働災害発生状況(休業4日以上)が、コロナり患者を除く件数で、過去20年で最悪の状況となっている現状にあること。

この間、この運動の理解を図るべく各種資料を出すなど取組を進めており、これらが労働災害の減少に繋がるように期待していること等を説明されました。



(大島充署長の来賓挨拶)

続いて、2部構成で労務管理セミナー(研修会)が実施されました。

第1部 『S+S運動の推進について』

講師：大島 充 氏 (栃木労働基準監督署長)

第1部では、ご来賓の挨拶に続いて、大島充栃木労働基準監督署長より、『S+S運動の推進について』と題して、監督署主唱の労働災害防止啓発運動の概要や取組に関する講演がありました。

令和5年の管内における労働災害発生状況が急増する状況や、死亡労働災害の事例等を説明され、その後、「S+S(持続可能な安全作業)運動の推進」に係る取組の骨子、概要を説明されました。

さらに、「OODAループによる「S+S運動」追加策」の中で、リーフレット等の作製等の説明がありました。

署長の労働災害防止に向けた熱意の籠ったご講演をいただきました。

講演会資料「[S+S\(持続可能な安全作業\)運動の推進について](#)」



(大島署長の講演)

第2部 『2024 年問題と労務管理』

講師：松本 好人 氏（特定社会保険労務士）

2024 年問題と労務管理と題して、(株)EP コンサルティングサービス執行役員事業部長、社会保険労務士法人 EOS 代表社員である松本氏にご講演いただきました。

「2024 年問題と近時の労務・経営課題」「直近の法改正」「法改正への対応」「人財活用のための施策」「おわりに」の PP 資料により説明いただきました。

2024 年問題に関して、「コンプライアンス」と「人財」がキーワードであり、企業が持続的に成長するための両輪であるという視点が深く残りました。

限られた時間の中ではありましたが、2024 年問題と労務管理の説明をいただき、有意義な時間となりました。

講演会資料「[2024 年問題と労務管理](#)」



(松本好人氏の講演)

令和5年度労務管理セミナーは、栃木労働基準監督署主唱の「S+S(持続可能な安全作業)運動」の推進について、主唱者の監督署長よりその思い等を説明いただき、2024年問題に係る近時の労務・経営管理課題について、専門家のご講演をいただきました。

なお、「S+S(持続可能な安全作業)運動」に関して当協会は主催者の立場であり、当協会独自の取組として会員事業場が無災害であった場合に「S+S運動」記録証を授与する取組を始動しております。

これらの周知を一層図りつつ、S+S運動の気運の醸成を図って参ります。

参加者の皆様には、2時間30分ほどのセミナーに関し、最後まで熱心に聴講していただきました。

令和5年度労務管理セミナーは、栃木地区安全管理者研究会代表幹事の日立グローバルライフソリューションズ(株)の井上充弘様の閉会あいさつをいただき終了となりました。



(井上充弘様の閉会挨拶)

令和5年度労務管理セミナーへご参加いただきました皆様、当日ご参加いただいた役員関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

今後も、労務管理セミナーでは時宜を得た内容で実施して参りますので、労務管理等の参考にしていただけましたら幸いです。また、多くの方のご参加をお待ちしております。